

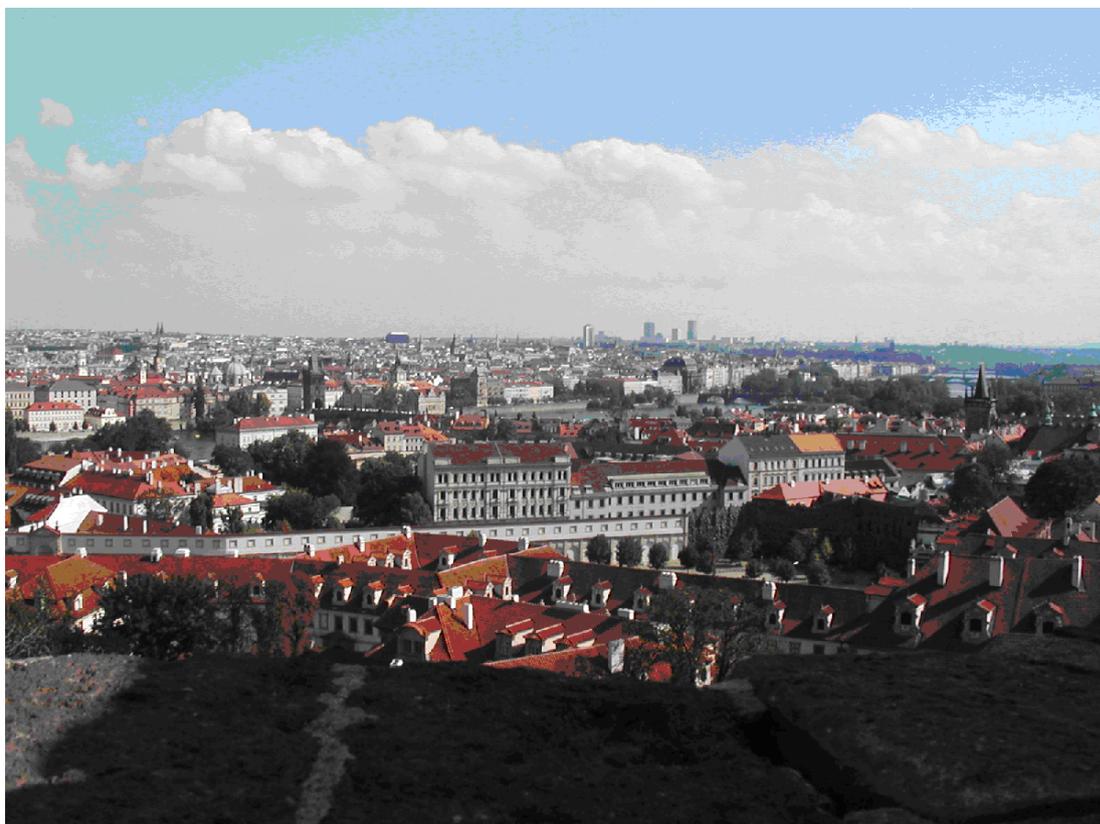


特集

レポート・論文を書こう！

誰にでも書ける方法 あります！

クイズ（この街は東欧のどこかです） 答は**最終頁**

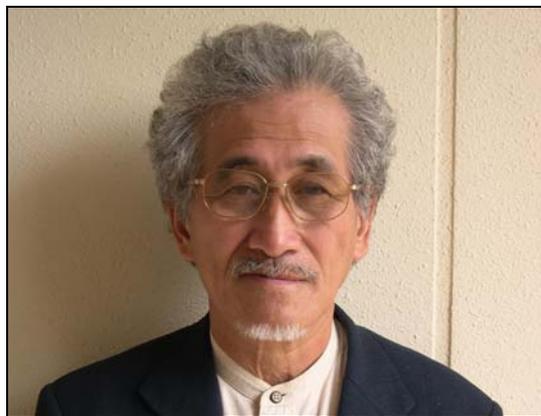


目次	埋蔵文化財と図書館	1
	特集（論文・レポートの作成方法）	2
	図書館企画展2007年	4
	図書館職員からのあれこれ	5
	図書館からのお知らせ	6
	図書館日誌	8

埋蔵文化財と図書館

下條信行

僕が学んだ大学図書館には小振りながらも考古品の陳列館が分館として併設されていた。そこには、大正時代から敗戦までの間に集められた実物資料の断片がたいした飾り立てや解説などなく、遺物名・出土地・時代などの最低情報が記されているだけの素朴なものであった。だが、その存在感は強烈なものであった。その資料が弥生時代研究の歩みを語る学史的資料であることもあるが、最低の情報しかないのを理解するにはこちら側の調べる努力が必要であった。しかしその姿勢さえ有れば、無料で何時でも必要な時に手軽に観察できる身近な資料であり、判らないことが有れば、あるいは少し判ればたちどころに再確認できる、いって見れば三食のご飯茶碗のように近い座右の資料として存在していたからである。その後大学を出、勤め先での最初の仕事はある政令都市の歴史資料館の立ち上げで、これを嚆矢に以来各地の資料館博物館の展示、新聞社の巡回展展示などに多数関わってきた。その間は展示バブルの時代でもあったので、ある程度潤沢な資金もあり、その結果美しくも煌びやかな仕立てと、サービス過剰かと思えるほどの豊富な分かり易い解説を提供できた。



それは展示技術、手法、デザインの謳歌であるが、一方、資料はその陰に隠れ、希薄な存在となった印象は拭えない。この華やかな展示は宣伝や入場客の増加に寄与したかもしれないが、決して入場者の探求心や思考力の向上に作用したとは言えない。そこに某かの空虚感が残る。資料への姿勢の違いが人によっては同じ資料でもリアリティの差として迫ってくるのだ。その小陳列館もいまや存在しない。大学博物館に吸収されたのならそれも一つのあり方かもしれない。

さて、大学図書館と埋蔵文化財となれば、もっとも近いのは図書類であろう。これには二種あって、その一つは考古学関係の啓蒙書、概説書、入門書類であり、愛媛大学図書館にもある程度は備えられている。他の一種は発掘調査報告書である。これは日本各地で毎年大量に出版されているが、行政の出版物であることが多いため、市販されることが少なく、図書館と雖も手に入れることは難しい。ところがこの報告書こそオリジナルな情報が満載されており、考

古学研究は先ずこれを手がかりに行う。大学でのその入手はもっぱら考古学研究室や個人への寄贈に拠っている。ただ、報告書でも戦前出版物や戦後でも絶版貴重書が時に復刻販売されることがあるが、これくらいは長期に保有される基本書として図書館に備えて欲しいものだ。さて最後になるが、実物や図書ではどうしても伝えにくい考古情報がある。発掘は日々の発掘によって見いだした変化の過程を記録するのが仕事であるが、これが一連の動作でありながらあ

えて分断してペーパーとして記録している。一連の動作を記録するには映像に優るものではなく、その動きや発見の感動も一番活写される。これを教室で短時間で伝えるのは難しいが、いろいろビデオやCD、DVDも市販されているので図書館のブースには非常置したらいかがであろうか。各施設や組織は機能分担しつつ、それを有機的に総合化を図るのが得策かと思える。

(しもじょう のぶゆき・法文学部)

論文・レポートの作成方法

テーマを選択し、そこに自分の視点や論点を入れて再構築する作業が論文・レポートの作成です。

- ① テーマの選択
 - ・与えられたテーマをより具体的なテーマに絞り込む。
 - ・自分の視点や論点を定める。
- ② 資料・文献を集める
 - ・図書や雑誌から文献を集めると何が問題か見えてくる。
 - ・自分のテーマが絞られてくる。
- ③ レポート・論文の執筆
 - ・自分の主張を最初にもってくる。
 - ・レポートの中心点をはっきりさせる。
- ④ レイアウトを工夫する
 - ・段落の取り方や引用の表現方法に注意する。
- ⑤ 論文・レポートの提出
 - ・インターネット上のエチケットを守る。(誰が、何を出したのかを明確に示す)

次ページのフローチャートで資料の入手に
レッツ・トライ！



[参考文献]

小笠原喜康著

『インターネット完全活用編/大学生のための
レポート・論文術』

講談社, 2003年

小笠原喜康著

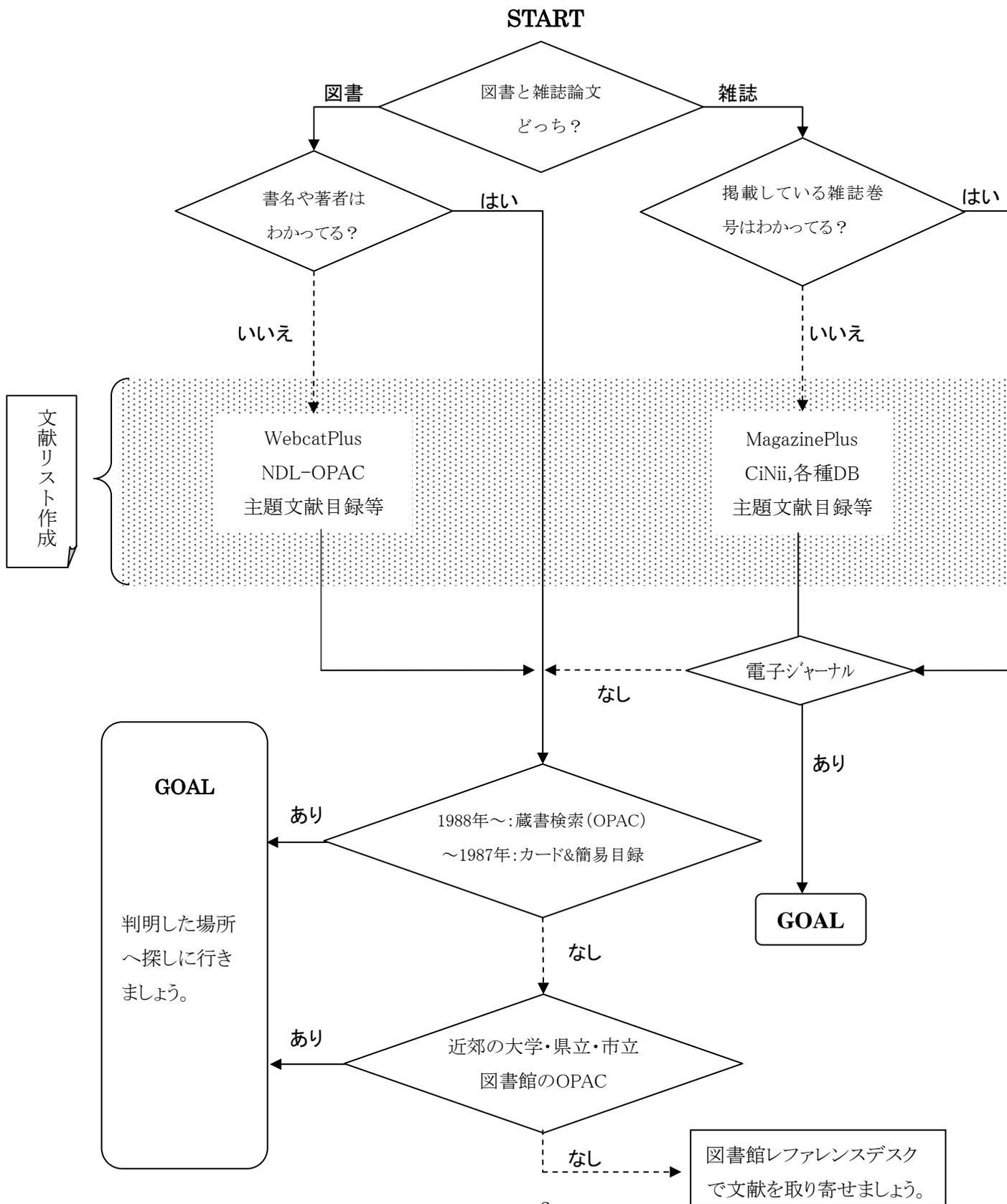
『大学生のためのレポート・論文術』

講談社, 2002年

巻末にもデータベース無料トライアルや講習会情報があります。

そちらも見て、レポートの情報を探す技術を得るスキルを伸ばしましょう！

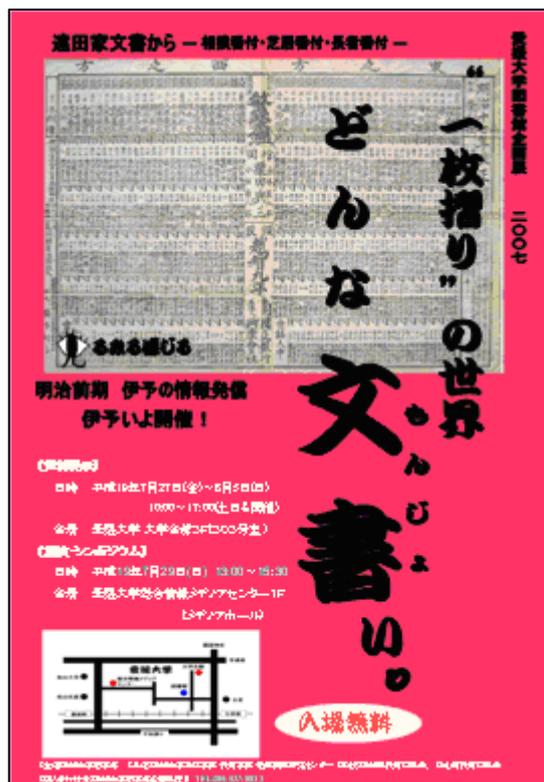
②資料・文献を集める（資料・文献入手方法フローチャート）



愛媛大学図書館企画展 2007 を開催

愛媛大学図書館では、地域文化に関心を持ってもらうべく、7月27日から8月5日まで、教育学部・法文学部・地域創成研究センター共催で、愛媛大学図書館企画展 2007「一枚摺り」の世界 ―相撲番付・芝居番付・長者番付― ～遠田家文書から～」を開催しました。

本企画展は、地域開放事業の一環として、平成17年度から開催しているもので、今年度は“一枚摺り”（いちまいずり）にスポットライトを当てました。“一枚摺り”とは、浮世絵や番付など一枚物の印刷物で、A2程度一枚の紙に必要な情報が詰め込まれており、当時の情報発信を偲ばせる貴重な資料です。愛媛大学図書館に寄託されている「遠田家文書」には、江戸末期から明治期までの伊予に関わる「一枚摺り」が多く、特別展示品を含め25点の資料を展示、開催期間中に延べ200人が訪れました。また、7月29日には、梅花女子大学短期大学部 荻田清教授を講師とした講演・シンポジウムを開催し、会場は120人を超える参加者で超満員となり、熱いディスカッションが繰り広げられ、参加者からは、企画展が来年度以降も引き続き開催されることを期待する声が多く寄せられました。



メモを取り熱心に聞き入る参加者

図書館職員からのあれこれ

大学評価学会第4回全国大会

学術情報チーム 土出郁子

3月17-18日、龍谷大学大宮学舎で開かれた大学評価学会の全国大会に出席させていただきました。この学会は「大学評価および関連分野の研究および普及」、「大学評価に関する内外の学会その他の団体との協力」などを目的として2004年に設立された。全国大会は年1回行われ、全国から大学評価に関わる先生方が参集される。1日目はシンポジウム、2日目は分科会であった。紙面の都合上、分科会の詳しい内容紹介は「大学評価学会通信」第13号に譲り、全体の感想のみここにご報告申しあげる。

シンポジウム・分科会とも非常に多岐に亘る内容で活発な議論が尽くされた。個人的には、普段深く考える機会の少ない「大学の方針・在り方」「大きな枠組みにおける大学図書館の位置や役割」について考える貴重な機会であったと思う。総括討論では、現在の大学評価の仕組み自体を評価していくことが必要であるとまとめられ、今大会の副題「大学評価の多様性を目指して」に

つなげられた。大学評価の多様性とは、大学の独自性や在り方を正しく評価できるような仕組みであると思う。

そのような仕組みのもとで、自分の大学の在り方について構成員全体で議論していくことの重要性を感じている。



大学評価学会のホームページ:

<http://www.unive.jp/>

「大学評価学会通信」第13号

http://www.unive.jp/tuusin_No13.pdf



図書館からのお知らせ



■ 中央図書館の改修工事について

中央図書館は、平成19年7月23日（月）から平成20年3月末の予定で改修工事を行っています。改修工事中も開館していますので利用できます。

詳しくは、図書館ホームページをご覧ください。

現在の図書館の状況(平成19.9.20現在)



■ データベース無料トライアル実施中～図書館ホームページよりご利用ください～

http://www.lib.ehime-u.ac.jp/NEWS/EJ_trial.html



■ SourceOECD economics (2007. 8.24 - 11.19)

OECD（経済協力開発機構）の報告書、統計集、データベースを24時間利用できるオンラインサービスです。

■ Web of Knowledge (2007. 9. 4 - 12.31)

米国ISI社が提供する各種データベース・サービスを統合的に操作できます。

● おすすめデータベース・トップ3

1位：Web of Science

約8,700誌を収録する学術文献・引用索引データベース。引用ナビゲーションによって、貴重な学術論文情報を入手することができます。研究業績評価・研究トレンド分析のスタンダードです。

2位：Journal Citation Reports（※本学で既に導入済み）

学術雑誌のインパクトファクターがわかります。

3位：Current Contents Connect

学術情報源の速報ツール。学術雑誌、新刊書および会議録の完全な目次、著者抄録書誌情報が毎日更新で提供されます。

■ 講習会情報

■ レポート・論文のための資料集め講座

ご希望に応じて行っています。「本がどこにあるのかわからない!」「雑誌論文はどう探せばいい?」「電子ジャーナルって何?」等々の疑問にお答えします。

卒論準備前に一度いかがでしょうか。個人・ゼミ・授業でご利用下さい。

■ データベース講習会：予告

Scopus（スコープス）、SciFinder Scholar（サイファインダー・スカラー）、Web of Knowledgeの講習会を10月～11月で予定しています。

多数のご参加をお待ちしています。

ポスター・図書館ホームページをご覧ください。

図書館日誌（人事異動、会議、研修など）

平成19年

- 4月19日 第55回中国四国地区図書館協議
 会総会・第34回国立大学図書館
 協会中国四国地区協会総会
 （岡山大）
 水沼課長、忽那副課長、山本 SL
 出席
- 5月15日 平成19年度目録/ILL システム講
 習会説明会 上山 TL 出席
- 5月22日 第1回医学部分館図書・情報委員
 会
- 5月31日 第78回 NPO 法人日本医学図書
 館協会総会 星川 TL 出席
- ～6月1日
- 6月5日 第35回四国地区中堅職員係員研
 修 土出課員出席
- ～8日
- 6月7日 第1回図書館委員会
- 6月15日 教科書展示会
- ～28日
- 6月27日 第54回国立大学図書館協会総
 会・第3回国立大学図書館協会マ
 ネジメント・セミナー 水沼課長
 出席
- 7月6日 医図協「第14回基礎研修会」第
 3回実行委員会（岡山大）星川 TL
 出席
- 7月9日 第2回医学部分館図書・情報委員
 会
- 7月10日 第1回農学部分館運営委員会
- 7月17日 中央図書館自由閲覧室 PC50 台
 ～18日 撤去・搬出



- 7月23日 図書館移転作業
 ～8月3日
- 7月24日 平成19年度愛媛地区大学図書館
 協議会総会（松山大）
- 7月27日 [企画展示]図書館企画展2007「一
 ～8月5日 枚摺りの世界—相撲番付・芝居番
 付・長者番付—」
- 7月29日 [講演・シンポジウム] 図書館企画
 展2007「一枚摺りの世界—相撲
 番付・芝居番付・長者番付—」
- 8月1日 第14回図書館員基礎研修会（岡
 山大）星川 TL、三瀬課員出席
- 8月1日 中央図書館臨時休館
 ～3日
- 8月7日 図書館報編集委員会
- 8月13日 中央図書館、農学部分館臨時休館
 ～15日
- 8月23日 平成19年度愛媛大学マネジメン
 ～24日 ト管理者研修 水沼課長出席
- 8月30日 平成19年度目録システム地域講
 ～31日 習会講師（広島経済大）上山 TL
 出席
- 9月4日 平成19年度電子ジャーナル地区
 説明会（岡山大）松本 TL 出席
- 9月5日 平成19年度国立大学図書館協会
 シンポジウム（大阪大）土出課員
 出席
- 9月6日 第2回中四国・九州地区大学図書
 館職員フレッシュパーソンセミ
 ナー（九州大）大石 SL 出席



クイズ答（プラハ）

愛媛大学図書館「図書館だより」第83号
 編集：館報編集委員会
 〒790-8577 松山市文京町3番

2007年10月1日発行
 発行：愛媛大学図書館
 TEL (089)927-8845